

六 面 受信〇五二三 譯了〇九五〇 電〇六六九五  
譯於〇八二八

航作 〇  
本



東京通信隊 聯合機隊口佐領口・高雄警備府口  
石垣島警備隊

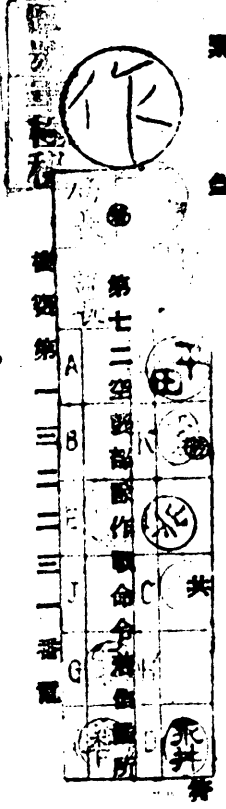
機隊第一三二〇四〇番電

宮古島警備隊駐紮報

一 本島警備隊 延六十五自〇六〇〇至一五三〇二百十八乃至二十  
數機編隊ヲ以テ主トシテ陸軍飛行場少數機ヲ以テ海軍飛行  
行場及許落ヲ監視シ在空約一時間半  
二 本島南方ヲ二十數機編隊及揚音數回石垣島ニ往復スヲ認ム  
三 結果 擊破 一  
被響 ナシ

通七四三二 是日丁十三四七〇五石高通 入西(澤田)

大 一四三 受領 〇二三五〇三 丁〇三五〇 凡〇六六四六 航作 本〇



七二△ロ個電令作第一〇號  
 〇〇〇個電令作第一八二號ニ依ル菊水十號作戦ニ於ケル當部隊作戦實  
 施要領左ノ通り定ム  
 一 直掩隊ヲ時(〇六〇〇ト豫定) 壘進櫻花隊直掩  
 二 收容制空隊ヲ一四時迄 美喜界島附近制空開始直掩隊露投時ノ收容ニ  
 任ズ  
 三 〇日一日所在基地ヲ攻撃スル敵大型大編隊以外ノ敵機ニ對スル遠

撃戰實施セズ。  
 第七三〇三三 三〇一〇ケ一(七八七五) 一エフコロ放 久保田(重 谷)

一〇五(七六)(七四)。  
 風一(型八)(三)(六)(〇)(九七式艦攻五)(三)(三)(〇)(中隊一五五  
 六(九六式艦攻)(二)(二)(四)(三)(九九式海防二)(二)(一)(一)(一)  
 四(二)(五)(二)(一)式艦攻九(五)(一)(四)(七)(機務隊四)(四)(六)  
 (三)(四)(二)(機務三)(三)(五)(二)(天山十一)五(九)六(機務  
 一)機務中(機務二)(二)(四)(四)(客機四)(二)(四八)(四六)(月光六

六 一五 受信二〇三四 丁二一三七 〇七四二四 航空本  
 始二一〇三四 石垣島警備隊



東 通・高橋・聯合艦隊  
 佐通 官古島警備隊・海防隊  
 機密第一五一五〇二番電

通報 軍令部四部長

十四日戦闘概報

一、敵艦一〇〇機〇六四〇(リ一八四〇迄八乃至二八機編隊ニテ  
 大次ニ直リ來襲 飛行場市街港灣施設ニ反復 域烈ナル銃爆ヲナ

二、敵ハ潜水艦ニテ味方機着ヲ監視シアルモノト如ク攻撃ハ最近  
 殆ド南洋飛行場ニ集中シマリ

三八三〇九 於十六(四七〇三)(高橋 小(三谷)(一)

大 一五  
 受領 一四四三  
 自 一七〇〇  
 至 〇七三六九  
 作 〇  
 本 〇



第五基地航空部隊機報第四一號、自六月五日迄六月十五日、  
 投密第一五一二〇番記 三分ノ一三

一、經過  
 (1) 六月七日第九次翔水作戰實施成果即報ノ通  
 (2) 十日以後天候不良ノ爲沖繩方面攻撃實施出來ス

三、編出機數五八  
 四、檢察未歸還五六機一  
 五、十五日ニ於ケル燃料搭載員保有ノ實態(檢察員大)三(八)三  
 六、八〇〇七三六九(六八)〇七三二 目(一〇)一一三三三三三(三)三

三 緊急輸送ノ計畫アル毎ニ敵機ハ西段島附近ヲ結集以西海面ヲ特  
ニ念入ニ搜索暗哨潜洩ノ疑アリ。

大 一五 受領二八三一 丁二一三九 電〇七四〇三 航空本  
附録二〇一五

④ 訓練機隊所用共通符號



⑤ 海軍總隊口、佐通。六統軍派遣通信隊

機密第一五一六三九番記

通電 一六五△・六五△・五二△ 各司令官 佐世保鎮守府司令長官

五△ 傳電令作第四號 九州航空隊司令官ハ萬全ヲ期シ種子島等地ノ陸戰移轉準備ヲ實施スベシ

一 鹿児島航空隊派員全員及該地員(防空隊見張所ヲ除ク)ハ三分ノ二

ヲ陸軍ニ復歸

二 高角砲全數並ニ對空機銃半數ノ陸戰隊地主隊ノ半數ノ移轉準備

三 糧食燃料大々月分ノ調整

四八一七五 已一〇分六二(七八七五)二五〇〇放 官永(半)

91-16

六一六 受信一三五〇 丁一六一五 〇七八五六 作本〇

至象 共符



● 古仁屋 統 基地  
● 海軍部 統 官・五 統 官 隊 口・佐 領 口  
六三四、九五一各統官

暗號軍機秘

後編第一六一八一〇番記

發 九五一 空司令官

派 九五一空 古仁屋 派 遣 官 官

古仁屋 派 遣 隊 天 臨 作 戰 開 始 以 來 寡 兵 克 々 熾 烈 ナ ル 故 ノ 至 極 下 多 大  
ノ 困 難 ナ 克 服 シ テ 粉 骨 碎 身 盡 夜 兼 行 ノ 努 力 ナ 以 テ 遂 勝 武 官 部 門  
作 戦 ニ 滿 力 基 礎 任 務 ナ 完 遂 シ ツ ツ ア ル ハ 大 ニ 可 ナ リ 感 フ ニ 甚 西 諸 島  
通 八 六 五 一 日 一 〇 七 一 二 ( 九 八 三 ) 〇 佐 二 放 川 井 ( 細 川 )



六 一六 受信 〇〇二二二 開始 〇〇二二八 終了 〇二二〇 電 〇八一二六 陸 訊

緊急

● 天航空部隊

● 種子島空基地

機密第一六一六一〇番電 二分ノ一

捕虜情報 六月十六日種子島飛行場ニ落下傘降下

- 一、四〇一搭乗員米海軍機中尉マドックスウイリヤム二十一歳
- 二、種子島詳細偵察ノ任務ヲ帯ビ一〇三〇沖繩中飛行場發種子島西海岸ニ
- 三、飛行場ニ侵入一二五〇墜左足關節貫通銃創顔面熱傷。

一 電信線註 本電二分ノ二未達

三八九〇七 呂一ケ十二(九八三〇B)佐二放 クス本(川口)



六一六 受信二〇四三 了丁二四〇 電〇七九 二九 作置本〇

作戰要旨



● 機動基地航空部 ● 真界防空基地

● 一機動基地航空部 ● 大島 隊下

機密第一六一八三五番電

一 本日敵機來襲狀況稍活氣、早に來襲セルモノ午前〇一四七 三四午後  
四〇及〇六〇三二來襲主トテ飛行場及同周邊部落ヲ猛襲敵機去來  
方向何レモ南西 一七一五以後ナレ  
二 戦果ナレ 被害十二機高角砲一直撃彈ノ爲大破 戦死下士官一 兵三  
重傷兵七。

一八〇〇

通八九五五 才一六(七八七五) KLOB放 清水(川口)

作

至急心

設台二三九

母島警備隊

父島方面母島警備隊牛乳報告信紙并

機密方一六一八五五番電 二分一

戦半運報(六月十七日)

(1) P五二七機二箇編隊二分一〇〇ヨリ一二五ニ至リ

未襲 沖港銃艇要後南方ニ逃走セリ

(4) P五二二機一二七ヨリ二〇分間未襲銃艇黃島  
方向ニ退去セリ

二戦果虫破二機

三被害ナシ

二電信隊註 本電二分二既配布  
二東通社 本電再送要水ノ急送送

通八九四二 口口下一二(五二九地)母警 小本音也

6-17

六 一七  
作 緊急



開始一九〇五

丁一九三〇

〇〇八四三四

喜界 航空 基地

大島防備部隊

機密第一七一六四二番

二分ノ二

本日ノ來襲狀況〇九〇〇以後四〇四乃至八機終日本島周邊噴滅セ  
ル外攻撃ニ來ルモノ午前四〇四二二機午後四機ノミ攻撃目標主ト  
シテ海岸附近ノ艦船ニシテ投擲スズ銃撃ノミコノ外P-三八 二機  
一〇〇頭南方ヨリ來襲投擲後南方ニ去ル

三 戦果 戦艦二艘 攻撃ナシ

三 敵ハ 艦隊アルトキハ直ニPBM 來リ 救助作ヲ行フ此ノ時四

四 機 高度ヲ以テ 艦隊 又ハ 機銃 高角砲 陣地ノ 地點 附近 海岸ヲ 反

射 攻撃 作業ノ 投擲 ナスチ 常トス

六三〇 小林・小野寺(吉田)

一九三〇 頃ヨリ 天候 雨トナリ 敵機ヲ 見ズ  
於一六七八七五(一) F O B 敵

九三三 三四

天

作



局長	一	七
課長	二	三
A	四	五
B	六	八
E	九	十
J	十一	十二

支那方面... 支那方面... 支那方面...

支那方面... 支那方面...

支那方面... 支那方面...

支那方面... 支那方面... 支那方面...

支那方面... 支那方面...

支那方面... 支那方面...

支那方面... 支那方面...

支那方面... 支那方面...

支那方面... 支那方面...

緊急

示 一八 電信二三〇 既了。五一。電。八六八五 作既  
或指。四一。

標

● ●

丸空襲部隊

宮古航空基地

● 石垣航空基地

機密第一七一九三三番電 二今一

石垣第五航空隊戰鬥機(六月十七日)

一〇六五(一七四) TBF-1 六八 F4F-4 三三 計六〇天  
襲主副滑走路銃爆轟

副滑走路被彈一四 發一九二。以降四。八八。使用可能  
二陸軍飛行場被彈三發二〇。以降七。八〇。使用可能。

(電信課註 本電二分三末着)

通九六二六

五(日)十三(三七八六五北)五F4F夜 中野(上野)

傍

船給輸送地区隊長

電〇九七三六 作機〇

通電先 威・振武・虎・殿・キン・ユグチ・翼・シユン

参考 大長

尙武參電第七二四號 其ノ二三

其ノ一部ハ我ガ配備ノ間隙ヨリ逐次滲透シ二十四日ニハ「サンタ  
フエ」北方約二杆道路兩側高地ヲ占領ス

二 聖職ハ依然トシテ現在ノ線ノ確保ニ努ムルト共ニ是等滲透部隊ヲ  
播蕩シツツナルモ後方部隊ノ兵力僅少ノ爲徹底的ニ掃蕩シ得ズ  
線ハ逐次北方ニ轉移スルモノト思ハル

三 當面ノ敵ハ主力ヲ以テ本道西側地區ヨリ進ニ無二

「電信」 平地ハノ進出ヲ企圖シアルモノノ如シ  
發信局 未ダラ

(林部)

二〇六二二二 (陸軍ヨリ接受) 陸軍部 陸軍部長

通電先 次 長 。

球參電第大四八號



六月二十日ニ於ケル狀況

通信連絡殆ド杜絶シ各兵團ノ狀況不明ナルモ摩文仁ヲ中心トスル地區  
ニ於テ昨十九日報告伊原ノ東半部ハ敵ノ奪取スルトヨリトナリ戰車約  
一〇輛、砲三門ノ敵ハ

「電註 以下二通未着」

第二十四師團司令部附近本朝尙組織的戰團ヲ構ケ「電註、二語不明」  
ラシキモノニシテ其ノ各部隊ハ依然新垣北方高地眞榮里東方高地眞榮  
北側高地附近ヲ各中心トシテ選定中ナルモノノ如シ 敵機ノ活動本日  
概ノテ低調ナリ。

(小林)

1792 20. 6-22

六

二二

(陸軍部受)

二二二二

作部

特別緊急

陸軍部 陸軍部 陸軍部

陸軍部 陸軍部

作

陸軍部第七二六號 (電) 陸軍部 陸軍部 陸軍部

×配布ス

十六日地上戰況

右翼方面ニ於テハ第六十二師團主力ヲ以テスル對突破策ヲ敵ノ晝夜  
ヲ分々ザル益砲撃ニ依リ漸ク如クナラズ

本夕敵ハ六五、四〇リ一〇八、七附近ヲ經テ真榮平東方一〇〇〇米  
ノ岩山及一五七、六附近ノ線ニ進行シ。

一〇〇 註 本電以下未送

(新井)

1793

6-22





天航空部敵機報告信盤所

● 申良航空基地

機密 第二二〇六〇八番電 三分ノ二

第九三一部敵機報告第四二號 (六月二十二日〇五三〇)

一、菊水十勝作戦

沖繩周達艦船(雷撃ノ爲天山五機一一五〇ヨリ二二二〇迄ノ間ニ申良發進〇五三〇迄ニ二機歸着)

(四)〇〇五〇殘波岬北東海面ニテ巡洋艦雷撃火焔ヲ認メタルモ戦果ヲ確認スルニ至ラズ

(五)〇〇一〇古志岐島西方海面ニテ巡洋艦雷撃セリ後雲ニ入り戦果ヲ確認スルコト能ハザリシモ命中略確實ナリ

正三〇八二二〇三三 巳一B(七八七五)一五〇放筒并・信筒(三六)ナリ

①一機ヨリ氣象六ヲ發信〇二三四頃連絡絶エ消息不明  
 ②二機ハ夫々〇三三四及〇一〇八連絡絶エ消息不明ナルモ攻撃  
 ヲ實施セルモノト認ム  
 天候 沖繩附近曇 雲量一〇 雲高一〇〇一五〇〇米 所々雨  
 風界二溼。

(電信譯註 本電三分ノ三未着)

II

六 二三 受信〇〇五〇<sup>四</sup>五〇〇 脚丁〇六五五 電一一二三二 作概〇  
 至 急 本 航



◎天航空部隊戰術概線對信處所

◎中良航空基地

機密第二二〇六〇八番電 三分ノ三

美大島及臥蛇 島西方海面各六〇浬附近ハ暴雲量一〇雲高五〇〇所々  
 雨風界二溼高度二〇〇〇米以上飛行ニ適ス其ノ他概々天候良好  
 三建波岬附近ニテ指揮官機ト認メラルル大火發ニテ認ム全コース夜戦  
 ナシ一及地上防禦砲火熾烈。

(電信譯註 本電三分ノ一三既配布)

通一二四七二 呂一Bケ十二(七八七五K) 一KPOB 東(岩崎)

六 二三 受信一四四三 呼了一六四五 電一一三四六 作機本〇

● 石垣島警

● 東通・聯合艦隊P・高通

● 佐通・官古島警・基隆防備隊



機密二二〇七一〇香電

二十一日戰國艦報

一〇六五〇ヨリ一八二〇迄敵 戰艦聯合計八五艘三次ニ買リ來發

陸海軍飛行場ニ銃爆撃ヲナス 一〇四五ヨリ一〇二四 一機一

時間半ニ買リ本島周縁偵察ノ後南西ニ退去ス

一〇七四〇ヨリ一〇二二〇迄ニアリテ、浮上潜水艦一隻南東海面距

離二万米附近ヲ游弋東方ニ見失フ。

通二二六九一 オ一七(一〇四〇〇)佐通 阿部(田中)

6-22

六 二二 受信一四五〇 脚丁一七一〇 一〇八八三 作誌〇・航本  
脚始一六三〇

作

九 空襲部隊 海軍級特信體所  
九 空襲部隊指揮官

機密簿三二二二四六番號

九 A B 偵察速報 (六月二十二日) 警屋一後宮古島東方敵機動部隊偵察

一、〇九四五地點「ノレ」針「空母四巡洋艦又ハ艦隊九針防南西速力

不明 (偵察高度五〇米)

三 天候敵發見地點附近群島五六雲高一〇〇〇視界三〇溫度々「ミスド」

アリ石垣宮古間天候快晴 通一ニ〇九五 呂一B々一二(一一三四七、五) カニヶ

海軍 (海見)

作

六二二 受領二二三〇三 二二三 丁一〇〇〇 電一一二六四 作機本  
緊急 共 符

● 大航空軍 戰國概報着價監所

後密二二三一三一五番電

二分ノ一

二十二日拂曉時攻撃一二機ヲ以テ敵機動部隊及「沖繩島南部」周邊ノ敵艦船ヲ攻撃ス 傍受ニ依リ〇八一五乃至〇八三〇ノ間十一機突入ヲ報ス(内Dニ二機)

● 東通註 開始符不明ニ付遅延ス  
● 電信譯註 本電二分ノ二既配布

通一二二七九 呂一Bケ十二(九八三〇KC) 佐二放 伊(吉井)



六  
ニニ  
波倍一九二三  
誤始二一〇五

誤了二二〇〇  
電二二五七  
共 許

④ 丁情報着信概所

機良茅二三一四〇六番電 四合一

丁情報才二三号(六月二十一日)  
一 五月二十四日以降沖繩局地通信系(四四二〇K)ニ出現セザリシ  
機動部隊隊名簿(五三VZ七V)ハ六月二十一日該系ニ出現  
ロI乙三Vハ六月十四日十七日レイテ放送ニ出系セルモノナリ  
尚捕虜親向ニ依シテ五月二十二日三八機動部隊才四群ハ  
ウルシ島ヲ出裏二十六日沖繩ニ到着セル状況アリ  
二 六月上旬末  
通(三三三)名一〇丁上(七八七五K)一Ffgの故 田中(五島)

6-22

六 二二 受信 二〇七三六 丁 二一〇五 電 二二二五八 通

急 情報 共 符

情報 情報 情報

機密 二二一四〇六 香電 四分ノ三

四分ノ二 機動部 殿宛ノ 沖繩方面 (七) 設備 (氣象 冠報ハ グラム 放送ニ カカ

レニ 處十九日 以後再ヒ 沖繩局 地通係ニ カカリアリ  
三 沖繩方面 海軍 暗戒部 指撥官 (三) (宛 キンハ 二十一日 三)

長官及 機動部 指撥官 宛 轉送セラレアリ (向 二十日 同種 電報ハ

四分ノ四 四 (三) (三) 旗 燈 (及 六) (在 沖繩) (電 送セラレアリ  
三 二十一日 二一〇五 燈 不 詳 (BARNDOR) 大 波 危 急 (類

シ 航 中 二十一日 〇三〇七 沈 没 セリ  
通 二八四二二六二 呂 一 日 夕 十二 (七八七五) 一 五 五 放 田 中 (秋 葉)



四 二十一 〇五 補給船ト推定 (ALBBERE) 擊沈  
 計 擊沈艦種不詳一隻 一撃破艦種不詳 一電探哨或艦一ツ傍受  
 セルモ 二十一 六四ハ 攻撃時間ヲ 混信 (陸軍電波) 空中狀態不  
 良ノ爲傍受困難ナリ。  
 電報註 本電四分ノ一ニ未着

日

六 二 三 受信 〇〇三〇六 譯了 〇三五〇 電一 一〇〇七八 作本  
 開始 〇三〇〇〇

手 倉

大村航空基地

二七航線

天航空部隊戰國極報通信所・横 通

機密第二二一八三五番電 二分ノ二

通報 第七一航空隊司令官

三四三空隊國極報 (六月二十二日)

一 菊水第十號作隊ノ制空隊トシテ 〇八〇〇 紫電五〇機發進 一〇〇〇機

美北方ニテ敵 P4U 二〇機ト交戦 一二〇〇機ニ四〇機一六三〇機

二更ニ四機計四機歸着

二 戰果 敵隊 P4U 七機 被害自爆ノ異大ナルモノ一機 未歸還機

(寶島北ノ海上ニ不時着ノ軍大戦國船四〇飛行隊長 林大尉ヲ百ム)

一 一三三七五 〇一 Dヶ十二 (七八七五 EG) 一 E P O B 放 希太・相  
 一 二 三 三 四 七

被彈一機（修理可能）其ノ他不時着陸中破一機（投乗員無事歸還）  
三、所見 最初發見セル小敵機ノ敵ニ捉ハレタル爲初ノ集中混戦ニ陥リ  
タルハ嚴戒ヲ要スル所ナリ。

六 二三 受領 〇八三〇 丁一三〇〇 電 一三五六 作本 〇

作戰特別緊急

● 官公署 空 基地

天航空部隊取調概報着信箇所

機密第二三〇三三一番電 二分ノ二

作

七六二部隊取調概報第二十三番電 六月二十二日

沖縄周縁敵艦夜間攻撃

一七〇六機（内二機照明）二〇二〇官給航空基地發進沖縄四方海軍  
於テ照明雷撃ヲ實施一機二三一五栗國島北方艦種不詳一隻魚雷中  
大火柱確取一機二三二五北中飛行場沖縄艦種不詳一隻（對空砲火響）  
テ激烈ノ轟沈確取一機故障引返一機取調達後連絡ナク未詳艦供機  
二機ハ二三三〇取調場ニ於テ火災自爆スル機種不明機ヲ取アリテ本校  
〇二一五迄ニ五機歸着

一三三三〇 〇一五六一二（七八七五）一三五〇 小宮（久保田）

6-33



六二二

開始一八三〇〇

丁一九一〇

至一一三六七

本

共

符

作

七二空襲部隊戰鬥海報信益所

秘密第二三〇八一五番電

四分ノ二三三四

七二△B 敵國海報第七號(六月二十二日)

一、菊水一〇號作戰陣督直掩隊〇五三〇〇リ〇六〇〇ノ間計六六機發

道途中〇リ二五機引返ス一機沖繩附近ニ進行敵〇六〇延二〇機

〇四〇一 一八機〇一四七 一〇機〇ト交戦一五〇〇延計二七

機掃透敵果隊隊〇六〇一 一 〇一四七 三(内一機不確實)

〇四〇一 三(内一機不確實)破敵〇一四七 一機 破敵 未

掃透九機(内數機他進地ニ不時着ノ機アリ)大破二機 中破三機

波弾一機右ノ外種子島ニ機出水二機大河一機不時着アリ

通一二五六八・一二五六七  
一二五六七・一二五六八

呂一〇ケ十二(七八七五機)一五〇〇放

新倉・長谷川  
丸山・谷

(三) 谷 (一)

三 菊水一〇號作戰特攻隊ニ關シハ三四三空戰隊報所報ノ通  
三 直掩隊ノ目撃セル神雷攻隊ノ状況左ノ如シ

(一) 一番機〇八一〇那覇北西上空ニテ桜花投下セルモ密雲ノ爲取果  
不明空戰ニ依リ母機ヲ見失フ

(二) 番機〇七五五伊江島上空附近ニテ空戰開始セル爲雲中ニ見失  
フ

(三) 番機〇八三〇頃伊江島附近海上ニ於テ。三隻ヲ發見投敵中敵  
ヲ六ツ一 二發ノ奇襲ヲ受ケ火災燃落

(四) 番機直掩隊ニ合同モ得ザリ爲不明ナリ

四〇九〇七〇リ一〇〇〇迄零戦五機ヲ以テ處置地區上空俯視實施敵  
ヲ見ス。

六二三 愛信一四五 款了三四五 電一ニハ三 作戦  
款始一三〇。

共符

作

天航庄部隊戦機報着信機所  
機密第三三〇八二七番電

TFR 戦機報(六月二十三日〇八〇〇)

一 沖繩泊地艦船攻撃ノ爲重爆六機ヲ二日〇一〇迄二發連  
同ニ三三〇頃迄ニハ攻撃終了戦果艦型不詳一隻轟沈沈同  
一隻魚雷命中大火柱確認被害未歸還一機  
ニ零水二機ハ二十日夜ヨリ二十日早朝ニ亘リ東海索敵敵  
ヲ見ズ。

通一ニ五六七 百一八七十三(三四七五七)カニ各 高橋(杯部)

六 二三 受信一四二五 射丁一七二〇 電一三三四 作機〇  
開始一六一〇

緊急 大島防衛隊

●天一輪作機部隊



機密二二三一二一八番

一昨夜二一〇〇頃及〇三〇〇頃敵機各二機來領島内各所ヲ銃撃

被撃ナシ

二〇六〇〇頃時リ午前中殆下間斷ナクヲ四〇一又ハ四七四  
機乃至八機本島周邊ヲ西方及南方ニ行動スルヲ認ム内ヲ四〇一  
一四機阿波海攻撃被撃ナシ一〇〇頃P三八二機高度四〇〇  
〇ニテ本島上空ヲ旋回スルヲ認メ高偵察機ト認メタル天候曇  
量八雲高二二〇〇。

通一二六二四 呂一〇〇十二(七八七五) (KPO) 伊藤(田中)

六二五 受信〇〇五三〇八 譯了〇六一〇 電一二〇〇四 航作本概〇

● 官古島警



● 東通・聯合艦隊P、佐鎮P、高警P  
● 石垣島警

機密第二四二一四一番電

二十四日戦闘概報

〇〇五〇敵戦闘機一機海軍飛行場銃撃〇六五〇P三三八ノ誘導スル  
艦上機三二機ニ依リ飛行場附近航過爆撃一九三五艦上機本州西海面  
ヲ西ヨリ東ヘ通過結果被撃ナシ。

通一三四六八 日一三四六八(四七〇五) 高通 日野海、森田(





六二六 受信一六四六 譯二〇〇一 電一二七〇九 航本〇

作取緊急



天航空軍部 航空隊 航空基地

機密第二六〇五四〇番電

七六二部 陸軍部 航空隊 第三三號 (六月二十五日)

一 沖繩用 遠征船 攻撃 攻撃 五〇一飛行 銀河五機 二〇〇一 二

二 四五宮崎 基地 機三機、内一機、〇〇五七七我突隊ニ轉スヲ望ム

以後一機(二二三七機)〇〇一七連絡セル以後消息ヲ斷テ未歸還

三 結果不明

四 被奪銀河二機未歸還

洞一四一九五 田一〇ケ十二(七八七可解) 一五〇〇放

坂本(上野和)

昭和六年六月廿七日

6-26

天

六二六 受信一二二八 閉了二二四〇 電二二六〇五 作概〇  
 作戰特別緊急 久米島見張所



● 佐領區敵情着信處所  
 ● 大島防備隊

機密第二六〇六三〇番電

敵上陸ヲ開始セリ 久米島東海岸。

短一四一四五 於一五(九八三〇) 佐二放 武藤(久保田)

六二七

受信。三四。  
讀。八。

譯了。八三。

雷三四五

作概

作

著

天機堂都隊戰報概報看信解折  
機密第。二六。八。考。重。四分

共

符

(一) 基地爆擊 伴以空飛 炸場 攻擊 七。七。三 機 役 投 棄 燈 中  
一 洞 走 路 三 直 擊 炸 上 一 箇 所 地 飛 行 場 攻 擊 七。七。二 機 初 果 不  
明  
(二) 水偵探 攻 八 機 水 爆 六 機 (以 巡 攻 擊) 攻 七 機 (基 地 攻 擊) 攻 擊 手 狀  
況 後 報

三 板 官  
銀 河 三 機 天 山 一 機 不 歸 還 擊 擊 一 機 相 彈 着 陸 炸 大 破 天 山 一 機 不  
好 着 水 何 以 之 條 乘 自 無 事。  
二 元 統 操 注 本 元 四 分 一。二。三 未 主 看  
通 一 四 五 二 呂 一 日 午 三 (九 八。七) 伍 三 夜 (溪 水 (信 目 之))

6-26

六二六 凌信 一四四二 譯子 〇三〇 獲 一三四八 作所  
 緊急 譯始 一六一五  
 岩川 航空基地

作

看

天航空部隊作致命看信極所  
 靠航空基地  
 機密第一二六八八番電 三分六三

此字雲天候不良為中編攻圍實施也目視敵夜約一〇  
 機(内P-63)敵夜我相向執拗追躡約五〇里及至  
 其射擊探兩及海比分多我果夜間點燈中滑走路三團擊之  
 機尖上三機即墜(伊江基地)被害一機大破一機搭棄  
 機(伊江基地)噴火管制噴施在コナラ設置並示以作業實施  
 敵基地燈火管制噴施在コナラ設置並示以作業實施  
 中城灣三三型舟艇約二〇隻密集何處煙幕層張  
 五天候有大島以南半時十五層又島附近層雲三層降雨日認  
 以發晴天十北(東)註在七〇四五機係七照多邊照(註在七  
 一四二六 品一五七三三七七五二下F  
 岩川(分)